

参加表明書

平成 年 月 日

静岡市長 田辺 信宏 様

住 所

商号又は名称

代表者役職名

代 表 者 名

印

下記プロポーザルに係る手続きに参加したいので、参加表明書及び技術資料を提出します。

なお、説明書に記載の応募資格の要件を満たすことを誓約します。

記

- 1 公 告 日 平成29年 6 月21日
- 2 プロポーザル名 仮称静岡市歴史文化施設建設基本設計公募型プロポーザル

担当部課名

担当者名

電話番号

電子メール

※一級建築士事務所登録通知書等の証明できる資料の写しを添付してください。
官公需適格組合の場合は、構成員を証明できる資料の写しを添付してください。

【次のアンケートにご協力ください】

仮称静岡市歴史文化施設建設基本設計公募型プロポーザルを実施していることをお知りになった媒体（きっかけ）は何ですか。次の番号に○をお付けください。（複数回答可）

※このアンケートは、次回プロポーザルの公表方法の参考とするためのものであり、審査に影響するものではありません。

- 1、静岡市HP
- 2、（公社）日本建築士会連合会HP
- 3、（一社）日本建築士事務所協会連合会HP
- 4、（公社）日本建築家協会HP
- 5、（一社）日本建築学会HP
- 6、（ ）新聞
- 7、知り合いからの紹介（建築関係、その他（ ））
- 8、その他（ ）

事務所の同種・類似業務実績

業務名	発注者	受注形態	施設の概要			設計業務完了年月	添付書類	
			用途	構造・規模 面積	着工年月			
同種・類似業務実績	例： 〇〇〇〇 建設工事 基本・実施 設計業務	〇〇市	単独 (基本設計) 共同体 (実施設計)	博物館	R C 2 F/ B 1 F 3,000㎡	平成19年 5月	平成18年 10月	確認申請書 (建築計画 概要書) 又 は計画通知 書等、業務 実施(建築 主、設計者 及び主たる 用途)を証 明できる資 料の写しを 添付してく ださい。
								—

記入上の注意

- ① 本様式は、説明書5(1)ウに記載の要件を満たす建築物の建築設計実績を記入してください。
- ② 構造・規模面積欄は、構造種別(W、RC、SRC)、地上階数/地下階数、延床面積を記入してください。
- ③ 受注形態の欄には、単独、JVまたは協力(協力事務所として参照)の別を記入してください。
- ④ 太線内の業務については、同種・類似業務実績の確認申請書(建築計画概要書)又は計画通知書等、業務実施(建築主、設計者及び主たる用途)を証明できる資料の写しを添付してください。
- ⑤ 協力の場合は発注者欄に元請事務所名を()書きで記入してください。

管理（総括）技術者の経歴等

①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○ 年		
・一級建築士		(登録番号:) (取得年月日: 年 月 日)		
・ ()		(登録番号:) (取得年月日: 年 月 日)		
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日: 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例: ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()	庁舎、RC-5、7,000㎡ 意匠 担当技術者として従事	H28.10.1 ～ H30.2.28
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）

業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例: ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()	○○博物館、RC-3、5,000㎡ 意匠 主任担当技術者として従事	H20.11.1 ～ H22.5.31
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館） つづき				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
⑦業務実績（公共建築物）				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○生涯学習施設、RC-2、 1,500㎡、意匠 主任担当技術者として従事	H23. 5. 1 ～ H24. 3. 15
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
⑧その他（過去の受賞歴（博物館又は美術館）） ※参考にご記入ください。				
賞の名称	受賞年月	対象施設の名称	施設用途	規模・構造
例：公共建築賞	H25. 11	○○美術館	美術館	RC-3、○○㎡

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。
- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
- a 業務名 具体的に記入
- b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、（）内に事業主を記入する。
- c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を（）内に記入する。
- d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
- e 履行期間 業務の履行期間
- ⑥ 業務実績（博物館又は美術館）
博物館又は美術館の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。
- ⑦ 業務実績（公共建築物）
公共建築物の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。
- ⑧ その他（過去の受賞歴（博物館又は美術館））
博物館又は美術館の過去の受賞歴について記入する。（3件まで）

各担当技術者の経歴等

担当分野：		意匠		
①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○年		
・一級建築士		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・ ()		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日： 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○庁舎、RC-5、7,000㎡ 意匠 担当技術者として従事	H28.10.1 ～ H30.2.28
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）

業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○博物館、RC-3、5,000㎡ 意匠 主任担当技術者として従事	H20.11.1 ～ H22.5.31
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館） つづき				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
⑦業務実績（公共建築物）				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○生涯学習施設、RC-2、 1,500㎡、意匠 主任担当技術者として従事	H23. 5. 1 ～ H24. 3. 15
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
⑧その他（過去の受賞歴（博物館又は美術館）） ※参考にご記入ください。				
賞の名称	受賞年月	対象施設の名称	施設用途	規模・構造
例：公共建築賞	H25. 11	○○美術館	美術館	RC-3、○○㎡

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。
- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
- a 業務名 具体的に記入
- b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、（）内に事業主を記入する。
- c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を（）内に記入する。
- d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
- e 履行期間 業務の履行期間
- ⑥ 業務実績（博物館又は美術館）
博物館又は美術館の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。
- ⑦ 業務実績（公共建築物）
公共建築物の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。
- ⑧ その他（過去の受賞歴（博物館又は美術館））
博物館又は美術館の過去の受賞歴について記入する。（3件まで）

各担当技術者の経歴等

担当分野：		構 造		
①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○ 年		
・一級建築士		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・ ()		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日： 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()	○○庁舎、RC-5、7,000㎡ 構造 担当技術者として従事	H28. 10. 1 ～ H30. 2. 28
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

- ① 氏 名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。
- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
- a 業務名 具体的に記入
 - b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、()内に事業主を記入する。
 - c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を()内に記入する。
 - d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
 - e 履行期間 業務の履行期間

各担当技術者の経歴等

担当分野：		積算		
①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○年		
・一級建築士		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・ ()		(登録番号：) (取得年月日： 年 月 日)		
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日： 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()	○○庁舎、RC-5、7,000㎡ 積算 担当技術者として従事	H28. 10. 1 ～ H30. 2. 28
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。
- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
- a 業務名 具体的に記入
 - b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、()内に事業主を記入する。
 - c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を()内に記入する。
 - d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
 - e 履行期間 業務の履行期間

各担当技術者の経歴等

担当分野：		電 気		
①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○ 年		
・一級建築士		(登録番号：)	(取得年月日： 年 月 日)	
・ ()		(登録番号：)	(取得年月日： 年 月 日)	
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日： 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○庁舎、RC-5、7,000㎡ 電気 担当技術者として従事	H28.10.1 ～ H30.2.28
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）

業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○博物館、RC-3、5,000㎡ 電気 主任担当技術者として従事	H20.11.1 ～ H22.5.31
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）つづき				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。

- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
 - a 業務名 具体的に記入
 - b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、()内に事業主を記入する。
 - c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を()内に記入する。
 - d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
 - e 履行期間 業務の履行期間

- ⑥ 業務実績（博物館又は美術館）
博物館又は美術館の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者、建築設備の設計に関し意見を聴いた者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。

各担当技術者の経歴等

担当分野：		機 械		
①氏名		②生年月日 ○○○○年○月○日 (○○才)		
③所属・役職		○○○○設計事務所 ○○○		
④保有資格等		実務経験年数 ○ 年		
・一級建築士		(登録番号：)	(取得年月日： 年 月 日)	
・ ()		(登録番号：)	(取得年月日： 年 月 日)	
・建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日： 年 月 日)		
⑤手持業務の状況		設計期間中の手持の設計業務		合計 件
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○庁舎、RC-5、7,000㎡ 機械 担当技術者として従事	H28.10.1 ～ H30.2.28
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）

業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
例： ○○○○○建築設計業務	○○市	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()	○○博物館、RC-3、5,000㎡ 機械 主任担当技術者として従事	H20.11.1 ～ H22.5.31
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		
	()	・ 単独 ・ 官公需組合 ・ 協力事務所 ・ 共同体 ()		

⑥業務実績（博物館又は美術館）つづき				
業務名	発注者 (事業主)	受注形態	業務概要及び立場	履行期間
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		
	()	・単独 ・官公需組合 ・協力事務所 ・共同体 ()		

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は、提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5（2）設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。

- ⑤ 手持業務の状況
設計期間中の手持ちの設計業務（特定後契約予定を含む。）について、以下の項目を記入する。ただし、工事監理業務は除く。
 - a 業務名 具体的に記入
 - b 発注者 再委託を受けている業務の場合、契約相手方を記入し、()内に事業主を記入する。
 - c 受注形態 単独、官公需適格組合、協力事務所又は共同体のうち該当するものに○をつける。共同体の場合は他の構成員を()内に記入する。
 - d 業務概要 対象施設の施設用途及び規模・構造を記入する。あわせて関わっている分担業務分野及び立場（管理（総括）技術者、担当技術者又はこれらに準ずる立場）を記入する。
 - e 履行期間 業務の履行期間

- ⑥ 業務実績（博物館又は美術館）
博物館又は美術館の業務実績について記入する。（5件まで）
当該実績の確認申請書（建築計画概要書）又は計画通知書又は契約書等、業務実施（建築主、設計者、建築設備の設計に関し意見を聴いた者及び主たる用途）を証明できる資料の写しを添付してください。

協力事務所の名称等

事務所名		代表者名	
所在地			
分担業務分野			
再委託する理由及び 具体的内容			

事務所名		代表者名	
所在地			
分担業務分野			
再委託する理由及び 具体的内容			

事務所名		代表者名	
所在地			
分担業務分野			
再委託する理由及び 具体的内容			

事務所名		代表者名	
所在地			
分担業務分野			
再委託する理由及び 具体的内容			

業務の一部を再委託する場合には、協力事務所の名称、再委託する理由及び内容等を記入する。

追加業務担当技術者の経歴等

追加業務		
追加業務の具体的な業務内容		
追加業務を追加する理由		
担当技術者	①氏名	②生年月日 ○○○○年○月○日 (○才)
③所属・役職	○○○○設計事務所	○○○
※参考としてご記入ください。		
④保有資格等	実務経験年数	○年
・ () (登録番号:)		(取得年月日: 年 月 日)
・ () (登録番号:)		(取得年月日: 年 月 日)
・ 建築士定期講習の最終受講年月日		(受講年月日: 年 月 日)

記入上の注意

- ① 氏名 技術者の氏名
- ② 生年月日 西暦で記入、年齢は提出日現在で記入
- ③ 所属、役職 技術者の所属する組織及び役職
- ④ 保有資格等 技術者の保有する資格のうち、説明書5(2)設計業務実施上の条件の各項目に記載された当該分野の資格を記入する。
建築士法第22条の2の規定に基づく定期講習の対象となっている場合は、当該講習の最終受講年月日を記入する。
資格証明書の写し及び講習の受講証明の写しを添付してください。

業務の実施方針